

2013年度

# 事業報告

自 2013年4月 1日

至 2014年3月31日

東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア 5階

公益財団法人 読売日本交響楽団

## 【概論】

前年、「創立50周年」と「公益財団法人移行」という二つの大きな節目を迎えた読売日本交響楽団にとって、2013年度は、次の半世紀を見据えてさらに高いステージに駆け上がるための基盤再整備の年だったと言える。

楽団の“顔”ともいうべきコンサートマスター陣に、ヨーロッパで活躍する俊英ら新たに3人を起用して新風を吹き込み、自主公演のシリーズを再編して、多忙なサラリーマンやクラシック初心者を対象とした「読響カレッジ」などをスタートさせた。こうした取り組みが奏功し、13年度の会員数は7000人を突破。自主公演の有料入場者数も10万人を超え、過去最高を記録した。

2014年度は12年ぶりの海外公演が控えているが、日本全国に読響の名を浸透させ、世界に羽ばたくという目標に向けて弾みをつけることができた1年だったと総括できる。

## 【新たな50年に向けた基盤強化】

今後の50年に向けて基盤をさらに強固なものとするために、新たな体制づくりに意欲的に取り組んだ。

まず、楽団員の若返りを図った。長くコンサートマスターを務めたデヴィッド・ノーランと客員コンサートマスター鈴木理恵子の退団を機に、新たなコンサートマスターとして、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのダニエル・ゲーデ、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団の現役コンサートマスター日下紗矢子の2人が就任。さらにアシスタント・コンサートマスターとして、仙台フィルでコンサートマスターを務めた伝田正秀と契約した。3人とも30、40歳代と若く、とりわけ音楽の本場ドイツとオーストリアで華々しい経歴を持つ2人のコンサートマスターの登場は、オーケストラ全体の技術向上につながるばかりでなく、他の楽員に世界を意識させる刺激剤ともなっている。

楽員の新陳代謝も進み、定年などで退団した首席2人を含む計4人に代わって、若さと技量を兼ね備えた4人が入団した。事務局職員も新卒者を含め5人を公募で採用した。

世界を目指す取り組みの第一弾と位置付けている2015年3月の欧州公演は骨格が固まり、ドイツ、ポーランド、オランダ、ベルギーの4か国5都市での公演が決まった。常任指揮者カンプルランのもと、ドヴォルザークの「交響曲第9番〈新世界から〉」、メシヤンの「トゥーランガリラ交響曲」や、若手作曲家酒井健治の委嘱作品も演奏する。

「日本を代表するオーケストラ」のイメージを定着させるために、キャッチフレーズとロゴマークも一新した。キャッチフレーズは「日本には、読響がある」。日本全国に音楽を届け、世界に打って出る――そんな姿勢をアピールしたものだ。シンボルマークは、読響（YOMIKYO）の「Y」「K」を基調に、天空に輝く太陽や星を象徴する円と、ダイナミックなサウンドを表す直線をデザインした。

施設面の充実も図り、3月に事務局を中央区京橋のビルから千代田区神田錦町の新築ビルに移転した。新オフィスは都心の中心に位置し、よみうりランドにある練習所との行き来が

30分近く短縮されたほか、読売新聞東京本社も徒歩圏内になるなどアクセスが改善された。練習所事務棟の改修工事も行い、ライブラリアン室の拡張、防犯システムの近代化などを実現した。

## 【営業成績】

入場料収入の安定確保に大きな役割を果たすのが、シリーズ公演を1年または半年にわたって通して購入してくれる会員の存在。13年度は、構成面で他のシリーズとの違いを明確に打ち出した新シリーズを立ち上げたことや、編集特集をはじめとした新聞記事の積極展開、チケット取り扱い先の「ぴあ」と連携して1回券購入者を対象に行ったダイレクトメールでの勧誘作戦などに取り組んだ結果、7シリーズ合わせて、2011年以来2回目の7000人台を記録した。シリーズを5つから7つに増やしたことを考慮しても、大きな伸びだった。

会員に1回券購入者を足した有料入場者数も初めて10万人の大台に乗った。顧客の居住圏を絞り込んだ新聞広告や交通広告の活用、ホームページの充実、特色あるチラシの制作、読売新聞の会員向けウェブサイト上での動画配信などの広報展開の成果が表れてきたと言える。ちなみに、ホールの総座席数に占める有料入場者の割合は77%を超えている。

## 【7シリーズ多彩に】

13年度に繰り広げたフルオーケストラの演奏会開催数は、定期演奏会など7本のシリーズ公演を柱とする自主公演が72回、ホールや企業・団体から出演料を得て行う依頼公演が28回の計100回。

シリーズ公演は、サントリーホールでの「定期演奏会」「名曲シリーズ」など既存5シリーズに加えて、文京シビックホールでの「読響カレッジ」と、東京オペラシティコンサートホールでの「プレミアムシリーズ」をスタートさせた。「カレッジ」は、ビジネス街の会社員をターゲットに、開演時間を通常より1時間遅い午後8時に設定して正味1時間に凝縮したプログラムを提供、開演前には評論家や指揮者らによる解説も楽しんでもらうという企画で、クラシック初心者や若い女性にも好評を得た。「プレミアム」は、オーケストラ演奏の前に、楽員によるアンサンブル演奏をプラスしたぜいたくな内容で、室内楽ファンにも間口を広げた。

演奏水準の面でも確実に「日本を代表するオケ」としての地歩を固めている。常任指揮者のカンブルランは、契約2期目（3年間）の初年度に当たり、持ち味の緻密な構成で清新かつ色彩豊かな演奏で着実にファンを広げた。特にリゲティ、バルトークの作品を取り上げたハンガリープログラム、イタリア人作曲家やベルリオズの交響詩「イタリアのハロルド」を取り上げたイタリアプログラムなどで、個性あふれるステージを展開した。読響とはきわめて相性が良く、評論家やファンの評価も高い。

正指揮者から首席客演指揮者へと立場を変えた下野竜也は、11月に日生劇場、東京二期会との共同主催でライマン作曲のオペラ「リア」の日本初演を成功させ、前年度の「メデア」と合わせた「ライマンプロジェクト」の取り組みが「ミュージック・ペンクラブ音楽賞」に

輝いた。90歳を迎えた桂冠名誉指揮者のスクロヴァチェフスキも来日し、得意のブルックナーやショスタコーヴィチの交響曲を取り上げた。その他、テミルカーノフ、上岡敏之、ヒュー・ウルフら読響ではおなじみの指揮者陣も健在ぶりを発揮し、ヘレヴェッヘ、クレメンス・シュルトらが初登場した。

また、スタジオジブリのアニメ映画「風立ちぬ」（宮崎駿監督）のサウンドトラックを、作曲者の久石譲の指揮で収録した。読響による映画音楽の収録は、市川崑監督の「東京オリンピック」以来約半世紀ぶりのことだった。日本オリンピック委員会からオフィシャルパートナーである読売新聞東京本社を通じて依頼を受け、「君が代」の収録も行った。ソチ五輪では、男子フィギュアスケート優勝の羽生結弦選手の金メダル授与式で使われたほか、選手団の入村式でも流された。今後も引き続き、夏・冬の五輪で日本人選手が金メダルに輝いた際には使われることになっている。

読売新聞東京本社の新社屋内に併設された「よみうり大手町ホール」での演奏会もスタートした。11月には落成記念の室内楽を披露、3月には名誉客演指揮者の尾高忠明とピアノの河村尚子を迎え、50人規模のオーケストラ演奏で柿落とし公演を飾った。四周を木で包まれたホールは音響も非常に優れており、14年度にはアンサンブルのシリーズ公演（年間4公演）開催も決定、都心の新拠点として活用していく。

長く日本のクラシック界を牽引してきた功績が認められ、12月の第九公演には天皇、皇后両陛下の行幸啓が実現した。両陛下はオペラ「リア」にも足を運ばれ、読響の演奏を2回楽しまれた。

こうした演奏会の模様は、日本テレビとBS日本でレギュラー番組として毎月紹介された。読売テレビでも大阪公演の様子が放映された。

## 【活動の場を広げる社会貢献事業】

新聞とテレビを母体とするオーケストラとして、社会貢献に引き続き精力的に取り組んだ。

東日本大震災の被災地を訪ねる復興支援特別公演「きぼうの音楽会」は、3月3日に福島県いわき市で開催した。3年目を迎えた今回は、指揮者に同市出身の小林研一郎、ピアノに小林亜矢乃を迎えて親子共演を実現させ、1400人の聴衆の前で、チャイコフスキーの「ピアノ協奏曲」、スメタナの交響詩「モルダウ」などを演奏した。

大ホールに足を運ぶ機会の少ない人たちに音楽を届けることを目的とした「サロン・コンサート」は、初の北海道開催を含め計40か所で実施（大雪の影響で2回が中止）、09年度のスタート以来、開催回数は間もなく150回に達する。小中学校を訪問する「フレンドシップ・コンサート」は首都圏で7回開催。公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「ハートフル・コンサート」も、和歌山、岐阜、群馬、鳥取、長崎、徳島と6県の医療機関で開催し、14年度中には全国の47都道府県を一巡する見通しだ。

アマチュアの音楽活動支援では、事業提携をしている東京芸術劇場とのタイアップで、未来のプロ奏者を育成する「芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー」をスタートさせた。再雇用制度で採用したエルダー楽員のトロンボーン奏者がアドバイザーを務め、現役の楽員も講師に加わって、計10回にわたり中高校生を指導した。このほか、東邦音大が主催する

「中学生・高校生のための管弦打楽器ソロ・コンテスト」を文部科学省などとともに後援して「読響賞」を提供、全国95校が加盟する全日本高校オーケストラ連盟主催の「オーケストラフェスタ」や「サマークリニック」にも講師を派遣するなど、クラシックファンの底辺拡大と読響のブランドイメージアップに取り組んだ。

### 【南葵音楽文庫の紹介】

読響のホームページに「南葵音楽文庫紹介コーナー」を開設し、一般社団法人「芸術資源マネジメント研究所」への業務委託の成果であるデジタル画像集を解説コメントとともに掲載した。

12年度から3か年の継続事業として取り組んできたヘンデルやベートーベンの自筆・手稿など特に重要な資料98点の高精細デジタル化作業は、順調に進捗しており、13年度末で全体の約9割に当たる86点、約1万ページのデジタル化を終えた。

### 【消費増税への対応】

14年4月の消費増税に伴い、チケット料金改定作業も実施。本体価格を据え置いて増税分を料金に転嫁することとした。端数は切り捨てて100円単位にそろえ、S席7000円だった1回券が7200円に、同4万6000円だった年間会員券が4万7300円となった。

## 【2013年度実績報告書】

〈自主公演〉 定期演奏会				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.22	525	サントリーホール	小 林 研 一 郎	—
5.17	526	〃	ユーリ・テミルカーノフ	—
6.21	527	〃	フィリップ・ヘレヴェッヘ	クレメンス・ハーゲン
7.19	528	〃	ヒュー・ウルフ	ジュリアン・ラクリン
9.3	529	〃	シルヴァン・カンブルラン	鈴木 康 浩 ほか
10.12	530	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	—
11.22	531	〃	上 岡 敏 之	デジュ・ラーンキ
12.10	532	〃	シルヴァン・カンブルラン	金子 三 勇 士
1.14	533	〃	シルヴァン・カンブルラン	鈴木 康 浩
2.21	534	〃	クレメンス・シュルト	セルゲ・ツインマーマン
3.12	535	〃	下 野 竜 也	中 嶋 彰 子 ほか
〈自主公演〉 サントリーホール名曲シリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.28	559	サントリーホール	尾 高 忠 明	北 村 朋 幹
5.10	560	〃	ユーリ・テミルカーノフ	河 村 尚 子
6.16	561	〃	フィリップ・ヘレヴェッヘ	—
7.6	562	〃	ヒュー・ウルフ	ハヴィエル・ペリアネス
9.13	563	〃	シルヴァン・カンブルラン	清水 直 子 ほか
10.2	564	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	—
11.27	565	〃	小 林 研 一 郎	ゲルハルト・オピッツ
12.18	566	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美 穂 子 ほか
1.7	567	〃	シルヴァン・カンブルラン	ロ ジ ェ ・ ム ラ ロ
2.28	568	〃	山 田 和 樹	—
3.18	569	〃	下 野 竜 也	野 田 清 隆
〈自主公演〉 東京芸術劇場マチネーシリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.20	154	東 京 芸 術 劇 場	小 林 研 一 郎	—
5.12	155	〃	ユーリ・テミルカーノフ	河 村 尚 子
6.15	156	〃	フィリップ・ヘレヴェッヘ	—
7.13	157	〃	ヒュー・ウルフ	—
9.8	158	〃	シルヴァン・カンブルラン	—
10.14	159	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	—
11.24	160	〃	上 岡 敏 之	デジュ・ラーンキ
12.21	161	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美 穂 子 ほか
1.18	162	〃	下 野 竜 也	—
2.15	163	〃	クレメンス・シュルト	ソ ン ・ ヨ ル ム
3.22	164	〃	クリスチャン・ヤルヴィ	パ ク ・ ヘ ユ ン
〈自主公演〉 みなとみらいホリデー名曲シリーズ				8 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.27	63	横浜みなとみらいホール	尾 高 忠 明	北 村 朋 幹
5.19	64	〃	ユーリ・テミルカーノフ	—
8.17	65	〃	広 上 淳 一	田 村 響 ほか
9.14	66	〃	シルヴァン・カンブルラン	清水 直 子 ほか
10.6	67	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	—
12.23	68	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美 穂 子 ほか
1.19	69	〃	下 野 竜 也	—
3.23	70	〃	クリスチャン・ヤルヴィ	パ ク ・ ヘ ユ ン

〈自主公演〉 読響メトロポリタン・シリーズ 6 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
4.26	東京芸術劇場	尾高 忠明	北村 朋幹
7.12	〃	ヒュー・ウルフ	—
10.17	〃	小林 研一郎	遠藤 真理
12.20	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美穂子ほか
1.9	〃	シルヴァン・カンブルラン	ロジェ・ムラロ
2.27	〃	山田 和樹	—
〈自主公演〉 読響カレッジ 8 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
4.12	文京シビックホール	小林 研一郎	鈴木 舞
5.31	〃	飯守 泰次郎	—
7.26	〃	円光 寺雅彦	田部 京子
9.20	〃	下野 竜也	—
10.18	〃	小林 研一郎	—
11.15	〃	垣内 悠希	—
1.30	〃	大井 剛史	—
3.7	〃	大友 直人	松田 理奈
〈自主公演〉 東京オペラシティ・プレミアムシリーズ 5 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
4.11	東京オペラシティ	小林 研一郎	フォルクハルト・シュトイデ
7.5	〃	ヒュー・ウルフ	ハヴィエル・ペリアネス
10.3	〃	スタニスラフ・スコロヴァチェフスキ	—
12.25	〃	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美穂子ほか
1.8	〃	シルヴァン・カンブルラン	ロジェ・ムラロ
〈自主公演〉 特別演奏会／都区内特別 4 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
5.24	東京芸術劇場	ユーリ・テミルカーノフ	—
6.9	大田区民ホール アプリコ	小林 研一郎	小山 実稚恵
9.24	神奈川県立音楽堂	下野 竜也	藤原 道山
1.22	サントリーホール	現田 茂夫	森 麻季ほか
〈自主公演〉 特別演奏会／地方特別 5 回			
月・日	会場	指揮者	共演者
6.25	愛知県芸術劇場	秋山 和慶	デニス・コジュヒン
6.26	ザ・シンフォニーホール	秋山 和慶	デニス・コジュヒン
12.2	ザ・シンフォニーホール	シルヴァン・カンブルラン	—
12.3	アクロス福岡シンフォニーホール	シルヴァン・カンブルラン	—
3.3	いわき芸術文化交流館アリオス	小林 研一郎	小林 亜矢乃
〈自主公演〉 特別演奏会／サマーフェスティバル 2 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
8.16	東京芸術劇場	広上 淳一	田村 響ほか
8.21	〃	広上 淳一	—
〈自主公演〉 特別演奏会／第九公演 1 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
12.19	サントリーホール	デニス・ラッセル・デイヴィス	木下 美穂子ほか

〈依頼公演〉 首都圏公演					18 回	
月・日	公演名	主催者	会場名	指揮者	共演者	
4.6	ロッキーinシネマ・ミーツ・シンフォニー	読売新聞東京本社(事業局)	オーチャードホール	円光寺 雅彦	ジャミン・ゼブほか	
4.6	ロッキーinシネマ・ミーツ・シンフォニー	読売新聞東京本社(事業局)	オーチャードホール	円光寺 雅彦	ジャミン・ゼブほか	
4.13	和光文化センター開館20周年記念	和光市文化振興財団	和光市民文化センター	小林 研一郎	長谷 見 誠	
5.4	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン	読売新聞東京本社(広告局)	東京国際フォーラム	川瀬 賢太郎	-	
6.8	市 川 公 演	加藤新聞舗	市川市文化会館	小林 研一郎	-	
7.30	フェスタサマーミュージック KAWASAKI	川崎市文化財団	ミュージア川崎	小林 研一郎	仲道 郁代	
8.25	日伊音楽コンクール入賞者特別披露会	読売新聞東京本社(事業局)	東京芸術劇場	現田 茂夫	中丸 三千絵ほか	
10.4	世界のマエストロシリーズVol.1	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ	ベルント・グレンザー	
11.8	ニッセイオペラ公演	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下野 竜也	小森 輝彦ほか	
11.9	ニッセイオペラ公演	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下野 竜也	小森 輝彦ほか	
11.10	ニッセイオペラ公演	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下野 竜也	小森 輝彦ほか	
11.17	イギン・コンサート	イギン	東京オペラシティ	現田 茂夫	大塚 茜ほか	
12.13	久石譲「第九スペシャル」	実行委員会	NHK ホール	久 石 譲	林 正子ほか	
2.4	都民芸術フェスティバル	日本演奏連盟	東京芸術劇場	川瀬 賢太郎	志茂 美都世	
2.11	フレッシュ名曲コンサート	目黒区芸術文化振興財団	めぐろパーシモンホール	松尾 葉子	高橋 絵里ほか	
3.25	芸劇・親子コンサート	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	北原 幸夫	清水 理恵ほか	
3.25	芸劇・親子コンサート	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	北原 幸夫	清水 理恵ほか	
3.28	よみうり大手町ホールスペシャルコンサート	読売新聞東京本社	よみうり大手町ホール	尾 高 忠明	河村 尚子	

〈依頼公演〉 地方公演					6 回	
月・日	公演名	主催者	会場名	指揮者	共演者	
7.28	津 公 演	岡田文化財団	三重県文化会館	小林 研一郎	小野田 有紗	
9.26	高 岡 公 演	富山県文化振興財団	高岡文化ホール	下野 竜也	松田 理奈	
10.23	神宮式年遷宮奉祝演奏会	神社本庁	愛知県芸術劇場	円光寺 雅彦	川井 郁子	
1.26	福 島 公 演	福島市振興公社	福島音楽堂	小林 研一郎	-	
1.27	山 形 公 演	日本交響楽振興財団	山形テルサ	小林 研一郎	-	
2.9	豊 橋 公 演	日本交響楽振興財団	ライフポート豊橋	松尾 葉子	松山 冴花	

〈依頼公演〉 テレビ出演					2 回	
月・日	公演名	主催者	会 場	指揮者	共演者	
6.4	読響シンフォニックライブ	日本テレビ放送網	東京オペラシティ	梅田 俊明	田島 勤ほか	
8.28	読響シンフォニックライブ	日本テレビ放送網	東京芸術劇場	久 石 譲	樹木 希林	

〈依頼公演〉 レコーディング					2 回	
月・日	内 容	主催者	会 場	指揮者	共演者	
5.27	映画「風立ちぬ」	スタジオジブリ	東京芸術劇場	久 石 譲	-	
5.28	映画「風立ちぬ」	スタジオジブリ	東京芸術劇場	久 石 譲	-	

自主公演	72回
依頼公演	28回
<b>合計</b>	<b>100回</b>



放送録画／同時録音画			8 回
月・日	放送局名	内容	会場
4.20	日本テレビ放送網	同時録音画	東京芸術劇場
5.10	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール
7.12	日本テレビ放送網	同時録音画	東京芸術劇場
9.13	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール
10.12	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール
12.2	読売テレビ放送	同時録音画	ザ・シンフォニーホール
12.10	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール
12.19	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール
2.27	日本テレビ放送網	同時録音画	東京芸術劇場
3.12	日本テレビ放送網	同時録音画	サントリーホール

## (アンサンブル) サロンコンサート

40 回

月・日	公演名	会場名
4.3	サロンコンサート in 船堀 (東京)	タワーホール船堀小ホール
4.13	サロンコンサート in 新発田 (新潟)	新発田市生涯学習センター
4.18	サロンコンサート in 鎌倉 (神奈川)	鎌倉芸術館小ホール
4.19	サロンコンサート in 船橋 (千葉)	船橋市民文化ホール
5.11	サロンコンサート in 小松 (石川)	小松市公会堂大ホール
5.12	サロンコンサート in 小杉 (富山)	アイザック小杉文化ホール「ラポール」
5.17	サロンコンサート in 流山 (千葉)	流山市文化会館ホール
6.1	サロンコンサート in 中原 (神奈川)	エポックなかはら
6.8	サロンコンサート in 銚子 (千葉)	銚子よみうりホール
6.23	サロンコンサート in 札幌 (北海道)	共済ホール
7.12	サロンコンサート in 旭 (千葉)	東総文化会館
7.23	サロンコンサート in 山形 (山形)	山形テルサ
7.26	サロンコンサート in 府中 (東京)	府中の森芸術劇場ウイーンホール
7.28	サロンコンサート in 鹿沼 (栃木)	鹿沼市市民文化センター
8.11	サロンコンサート in 新河岸 (埼玉)	川越南文化会館
8.19	サロンコンサート in 等々力 (東京)	玉川区民会館ホール
8.24	サロンコンサート in いわき (福島)	いわき市文化センター
8.31	サロンコンサート in 富岡 (群馬)	かぶら文化ホール
9.2	サロンコンサート in 相模原 (神奈川)	相模原南市民ホール
9.16	サロンコンサート in 岩舟 (栃木)	岩舟文化会館
9.18	サロンコンサート in さいたま (埼玉)	彩の国さいたま芸術劇場
10.12	サロンコンサート in 習志野 (千葉)	習志野市文化ホール
10.18	サロンコンサート in 新所沢 (埼玉)	新所沢公民館
10.20	サロンコンサート in 上田 (長野)	信州国際音楽村
11.7	サロンコンサート in 奈良 (奈良)	秋篠音楽堂
11.8	サロンコンサート in 神戸 (兵庫)	東灘区民センターうはらホール
11.9	サロンコンサート in 橿原 (奈良)	かしはら万葉ホール
12.16	サロンコンサート in 川口 (埼玉)	川口総合文化センター音楽ホール
12.18	サロンコンサート in 目黒 (東京)	めぐろパーシモンホール小ホール
12.25	サロンコンサート in 昭島 (東京)	昭島市民会館大ホール
1.14	サロンコンサート in 麻布 (東京)	麻布区民センター
1.16	サロンコンサート in 鎌倉 (神奈川)	鎌倉生涯学習センター
1.17	サロンコンサート in 八王子 (東京)	八王子芸術文化会館いちようホール
1.25	サロンコンサート in 稲毛 (千葉)	千葉市立高浜海浜小学校体育館
2.23	サロンコンサート in 入間 (埼玉)	入間市市民会館ホール
2.26	サロンコンサート in 橋本 (神奈川)	杜のホールはしもと
3.2	サロンコンサート in 東久留米 (東京)	東久留米市生涯学習センター
3.17	サロンコンサート in 鴻巣 (埼玉)	鴻巣市文化センター クレアこうのす小ホール
3.28	サロンコンサート in 鈴鹿 (奈良)	En-Pa
3.29	サロンコンサート in 刈谷 (愛知)	刈谷市総合文化センター

(アンサンブル)フレンドシップコンサート			7 回
月・日	公演名	会場名	
5.23	フレンドシップコンサート 入間川東小	入間川東小学校 体育館	
6.14	フレンドシップコンサート 菅谷東小	菅谷東小学校 体育館	
9.26	フレンドシップコンサート 上中妻小	上中妻小学校 体育館	
9.27	フレンドシップコンサート 飯富小	飯富小学校 体育館	
10.4	フレンドシップコンサート 腰越小	腰越小学校 体育館	
11.5	フレンドシップコンサート 赤見台第二小	鴻巣市立赤見台第二小学校 体育館	
12.19	フレンドシップコンサート 元街小	横浜市立元街小学校 体育館	

(アンサンブル)読響ハートフルコンサート			6 回
月・日	公演名	会場名	
4.15	読響ハートフルコンサート 和歌山	和歌山県立医科大学付属病院	
8.1	読響ハートフルコンサート 岐阜	岐阜県総合医療センター	
9.4	読響ハートフルコンサート 高崎	高崎総合医療センター	
11.11	読響ハートフルコンサート 鳥取	鳥取県立中央病院	
2.17	読響ハートフルコンサート 長崎	長崎大学病院	
3.13	読響ハートフルコンサート 徳島	徳島県立中央病院	

サロンコンサート	40 回
フレンドシップコンサート	7 回
読響ハートフルコンサート	6 回
合計	53 回